

上矢作小学校だより

【学校の教育目標】たくましく すこやかな 上矢作の子

大船山

第 6 号

令和 4 年 6 月 15 日

ホムパ・ジ・アド・リス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

今から夏休みに向けて……親が手ぐすね引いて待つ夏休みに

校 長 細江 幸次

早いもので一学期も後半戦に入っていますが、上矢作っ子は4月のスタート時の新鮮さを保ったまま学校生活を送ることができています。実はこのことは、すごく難しいことではないかと思っています。新学期の新鮮さは、ゴールデンウィークの終了とともに失われ、五月病ともいえるモチベーションの低さや倦怠感に陥る姿を何度となく見てきた私にとって、上矢作っ子の規律と活力に満ちた様子はご家庭の協力に負うところも大きいと感じずにはいられません。

さて、1学期の終業は7月20日(水)となっています。言い方を変えれば、36日間の夏休みまで1ヵ月余となりました。まだこんな時期に夏休みのことを書いてしまうと、保護者の皆様の中には、いくらかの負担感を感じてしまう方もおられるのではないかと推察します。

しかし、特に小学生の場合、保護者の皆さんが夏休みをどう受け止め、子ども達にどう迫るかで休み中の過ごし方や2学期のスタートが大きく違ってきます。その意味で私は「親が手ぐすね引いて待つ夏休み」であってほしいと考えています。つまり、「今年はこんなことができるようにしたい、やりきらせたい」というものを何かひとつもってほしいということです。その「ひとつ」というのは学習、体力づくり、お手伝い……、継続的に続けられるものであれば、何でも構いません（私の場合、わが子へのそれは毎日のラジオ体操と科学作品の取組でした）。ぜひ、今から「何で手ぐすねを引くのか」を考えていただき、その後にお子さんと相談しながら計画づくりをしていただきたいと思います。

そして、夏休みに入ったら、その「ひとつ」について一日のどこかでお子さんとの会話の中で話題にできるようにしたいです。できれば、たまに見届けをしたり、一緒にやっていただけたりとすると、さらに効果的だと思います。身近な人の「認め・励まし」はとても大きな自信と達成感につながります。また、お子さんの成長を直に感じる機会にもなります。あれもこれもと欲張らず、何かひとつ「できるようにしたい、やりきらせたい」ことを決めていただきたいと思います。

もし、これがないと一日の過ごし方に自由度が増す分、多くの子ども達は自分にとって楽しいこと、楽なことばかりを自分の近くに置いていくことが多くなると私はと思っています。多くの子ども達は目の前の夏休みしか見えていませんから。子ども達にとって有意義な夏休みにすること、そして何より健康的で、活力に満ちた夏休みにすることは、夏休みの向こう側にある「2学期」をどうスタートするかにかかわってくると考えています。



Topic



■地域めぐり

好天に恵まれ、5月17日(火)に中・高学年、18日(水)に低学年が地域めぐりを行うことができました。それぞれの行先は以下の通りです。

- * 低学年: 圓頂寺、ふれあい会館、新田の桜
- * 中学年: 漆原神社、中馬街道、小田子・熊野神社
- * 高学年: 遠山塚、前田砦



低学年

身近な場所であっても初めて見るものや新しい発見がたくさんあった活動となりました。また、各学年とも地域協力の方に丁寧に教えていただき、地域についての学びを深めることができました。



中学年



高学年

■ドローン教室

5月31日(火)に今年度初めてのドローン教室を行いました。今年度は低学年2回、中学年3回、高学年5回の教室を計画しています。今回の中・高学年それぞれの教室ではドローンがどのような場面で活用されているかの問いに、子ども達は様々な場面を考えて意見を述べる姿が印象的でした。このドローン教室はプログラミング教育の一環として実施していますが、ドローンが上矢作のような山間地でどのように有効活用できるかという総合的な学習の側面も担っています。



■情報モラル教室

6月2日(木)、第2校時は1～3年、第3校時は4～6年を対象に情報モラル教室を行いました。Society5.0超スマート社会を迎えているといわれる現在、タブレットをはじめとするICT込んできています。上手に使いばとても便利な道具となりますが、誤ると犯罪の被害者にも加害者にもなり、依存症という病気にもなってしまう恐ろしさを学ぶことができました。



が私たちの生活に大きく入り

■6年 修学旅行

6月8日(水)、9日(木)に6年生が奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。好天に恵まれ、2日間とも十分に社会科の歴史学習の学びを深めることができました。また、学校を離れた遠隔地での学びにおいても日頃大切にしている挨拶、集団行動や静けさづくりが普段と何ら変わることなくでき、旅行そのものを楽しむことができました。訪問先でお世話になった方たちに感謝の気持ちを伝えることもできました。



見上げるくらい大きなものは何？